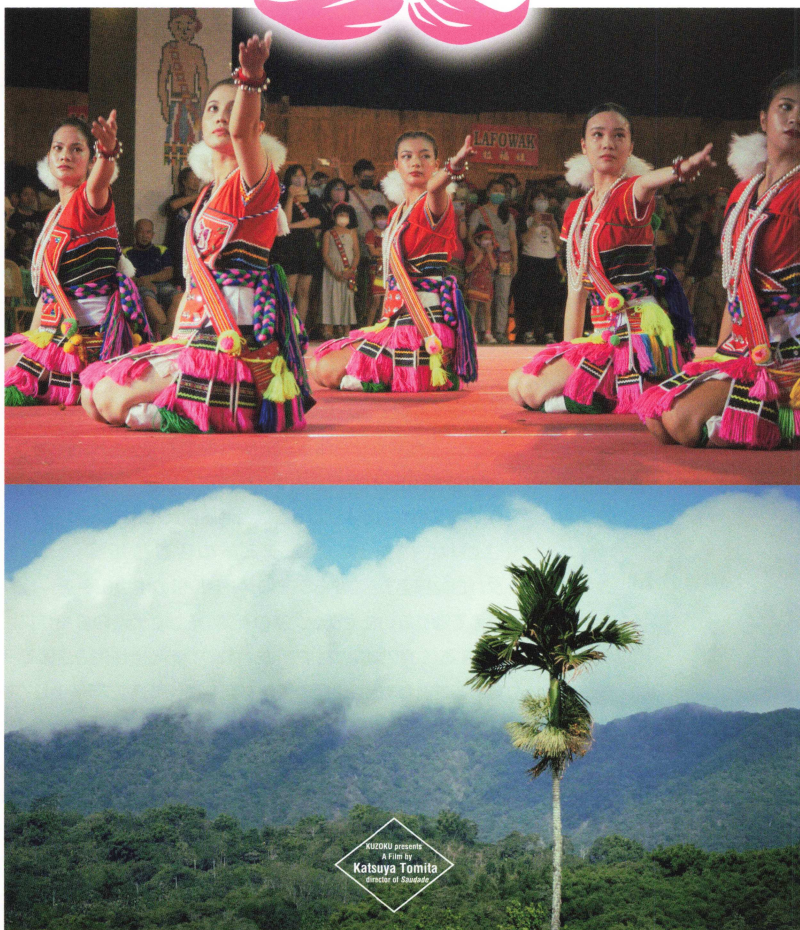


潜行千里

大航海時代、ポルトガル人は太平洋に浮かぶ美しい島を
イラ・フォルモサー — 麗しの島 — と呼んだ



監督
富田克也
空族 KUZOKU

ILHA FORMOSA

イ

ラ

フ

ォ

ル

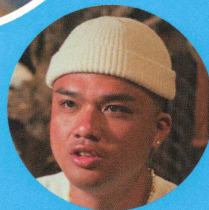
モ

サ



監督: 富田克也 監督補: 相澤虎之助 撮影: スタジオ石 録音: 中村誠治 監音: 山崎敏 中村誠治 ドライバー: 田中隆ノ介 カラーグレーディング: 古屋卓磨
編集: 富田克也、向山正洋 エグゼクティブ・プロデューサー: 石崎尚 フロデューサー: Vincent Wang、簡井龍平 制作進行: 蔡信弘、大野敦子、岩井秀世
企画: 愛知芸術文化センター 製作: 愛知県美術館 共同制作: 札幌文化芸術交流センター SCARTS 制作・配給: 空族 © 2025 KUZOKU 2025年 / 79分 / ライスタ / 5.1ch

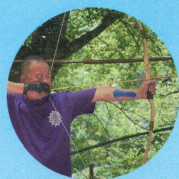
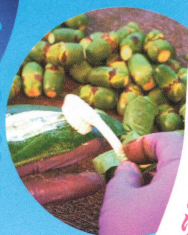
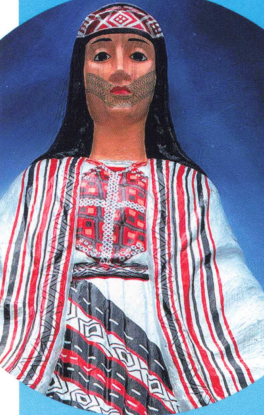
台湾の現在を映像制作集団「空族」が捉えた珠玉のドキュメンタリー



ILHA FORMOSA 潜行一千里

空族 meets 台湾!

星降る街角★祝祭の島への旅路



2020年1月、空族は台湾に飛んだ。タイ、ラオスを舞台とした長編映画「バンコクナイツ」(2016)から10年、次なる空族アジア映画の新作は台湾で撮られる予定なのだ。そのためにはまず現地を知る。ストリートに流れる音楽を掘る。それが空族のやり方であり流儀だ。その音に導かれるように、彼らは台湾原住民たちの住む村に向かっていく。アミ族の住む花蓮県タバロン部落。そこから3000メートル級の中央山脈を越えて辿り着いたセデック族の部落。そして台湾の最南端に位置するパイワン族の村まで。失われつつある原住民の言葉でラップし始める若者たち、原住民の伝統音楽を現代にアップデートして新しい音を生み出そうとするアーティストたち。空族は旅の過程で出会った人々と交流を深めながら、日本も含めた様々な国からの侵略の歴史をも知ることになる。しかし、過去の歴史をはねのけるように人々は活き活きと踊り、歌い、笑う。フィナーレは毎年タバロンで行われるアミ族最大の豊年祭だ。艶やかな原住民の衣装を纏った人々は三日三晩踊り続ける。台湾の過去と現在、そして未来。時空を超え、ただ私たちはその祝祭に身を委ねるのだ。



K's cinema ほか 11月22日(土)より公開!
公開記念空族特集も同時開催

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コムショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

